

2025年12月5日

【周産期登録データベースを用いた癒着胎盤スペクトラム (PAS) の 有病率と年次推移に関する実態調査】

に対するご協力のお願い

研究代表者 所属 京都大学医学部附属病院 職名 講師
氏名 千草 義継

このたび、日本産科婦人科学会データベース事業（**周産期登録**）を用いた下記の医学系研究を、日本産科婦人科学会の許可ならびに京都大学医学部附属病院の倫理審査委員会の承認のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を診療を受けた施設までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

西暦 2013 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日に周産期登録参加施設（施設検索 - 公益社団法人日本産科婦人科学会 uk-margin-remove (members-web.com)）で分娩された方。

2 研究課題名

施設倫理審査委員会の承認番号 **R5559**

日本産科婦人科学会の許可番号 **196**

研究課題名 **周産期登録データベースを用いた癒着胎盤スペクトラム (PAS) の有病率と年次推移に関する実態調査**

3 研究実施機関

実施機関：京都大学医学部附属病院産科婦人科

研究責任者：千草義継 京都大学大学院医学研究科婦人科産科学教室 講師

4 本研究の意義、目的、方法

癒着胎盤スペクトラム (Placenta Accreta Spectrum; PAS) は胎盤絨毛が子宮筋層へ異常に浸潤することで、胎盤が子宮壁に強く癒着する病態の総称であり、絨毛の侵入の程度に応じて単純癒着胎盤、侵入胎盤、穿通胎盤に分類されます。児が娩出された後に胎盤が正常に剥離しない場合、母体生命を脅かすほどの異常出血を引き起こす可能性があります。PAS の危険因子として一般的に前

置胎盤、帝王切開や子宮筋腫核出術、子宮内膜搔爬術、子宮動脈塞栓術を含む子宮手術の既往、胎盤用手剥離の既往、母体の高齢化、経産婦、体外受精などが挙げられます。近年、体外受精や帝王切開の増加に伴い、PAS の有病率は増加傾向にあるとされており、実際、米国における PAS の有病率は 1985 年から 1994 年では 2510 例に 1 例だったのに対し、2008 年から 2011 年では 731 例に 1 例と増加していました。体外受精や帝王切開率の増加傾向は本邦においても顕著であり、PAS も増加していることが予測されますが、本邦における PAS の有病率や年次推移について調査した研究はありません。今回、日本産科婦人科学会の周産期データベースを用いて、PAS の有病率の年次推移を調査する研究を計画しました。この研究の成果は、本邦における PAS の現状を把握し、今後の PAS 診療体制の整備、ハイリスク妊婦の適切なスクリーニングと管理体制の構築、および予防戦略の立案に資する基礎資料となり、妊産婦の安全性向上に寄与することが期待されます。

5 協力をお願いする内容

日本産科婦人科学会周産期登録データベースから下記の項目を抽出します。

測定項目：母体基本情報、分娩時年齢、基礎疾患、産科既往症、産科合併症、感染症、使用薬剤、分娩年、分娩週数、分娩方法、分娩時出血量、胎数、出産体重、児の生死、胎児死亡時期、胎児付属物

6 本研究の実施期間

西暦 2026 年 4 月 15 日～2029 年 3 月 31 日

7 プライバシーの保護について

本研究で取り扱う患者さんの情報は個人情報をすべて削除し、第 3 者にはどなたのものか一切わからない形で日本産科婦人科学会から提供され、使用します。患者さんの情報と個人情報を連結させることはありません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合は診療のために受診された施設へのご連絡をお願いいたします。

研究代表者・分担者

1) 研究課題ごとの相談窓口

京都大学医学部附属病院 産科婦人科 千草義継

(Tel) 075-751-3269 平日 9:00-17:00

2) 京都大学の相談窓口

京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口

(Tel) 075-751-4748 (E-mail) ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp